



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年11月2日

上場会社名 株式会社ダイナック 上場取引所 東
 コード番号 2675 URL http://www.dynac.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若杉 和正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理統括本部長 (氏名) 大和田 雄三 TEL 03-3341-4216
 品質保証本部長 CSR推進担当
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	24,211	-	81	-	100	-	44	-
23年12月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	6.27	-
23年12月期第3四半期	-	-

(注) 当社は、23年12月期より決算期を9月30日から12月31日に変更しております。決算期変更の経過期間となる23年12月期は3ヶ月決算となっておりますので、前年同四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	14,086	2,958	21.0
23年12月期	15,020	3,054	20.3

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 2,958百万円 23年12月期 3,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	-	-	-	2.50	2.50
24年12月期	-	5.00	-	-	-
24年12月期(予想)	-	-	-	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成24年12月期の業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,400	-	690	-	700	-	190	-	27.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

業績予想の修正については、本日(平成24年11月2日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 当社は、23年12月期より決算期を9月30日から12月31日に変更しております。決算期変更の経過期間となる23年12月期は3ヶ月決算となっておりますので、対前期増減率については記載しておりません。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

以外の会計方針の変更： 無

会計上の見積りの変更： 有

修正再表示： 無

(注) 「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。詳細は添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	7,033,000株	23年12月期	7,033,000株
期末自己株式数	24年12月期3Q	88株	23年12月期	88株
期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	7,032,912株	23年12月期3Q	-株

(注) 当社は、23年12月期より決算期を9月30日から12月31日に変更しております。決算期変更の経過期間となる23年12月期は3ヶ月決算となっておりますので、期中平均株式数(四半期累計)の23年12月期3Qは記載していません。

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などを背景に緩やかな回復傾向が見られたものの、欧州債務問題の再燃や中国経済の減速など、懸念材料も多く、依然として景気先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましても、改善の動きが鈍い雇用・所得環境に加え、消費増税に対する懸念もあり、消費者の生活防衛意識は依然として強く、厳しい経営環境にあります。

このような環境の下、当社は「お客様の感動満足」を起点とした会社の成長を目指し、「お客様目線での活動」、「お客様の声に耳を傾けて活動するVOC（Voice of Customer）活動」並びに店舗の各種イベントの充実を図るとともに、食に対する安心・安全の追求と商品・サービスの提供価値を高めてまいりました。

当第3四半期累計期間における新規出店及びリニューアルは、新鮮な魚介類を低価格で提供する海鮮酒場「魚盛」、ゴルフ場レストラン及び文化施設内のドリンクコーナーなど計8店舗を新規出店し、既存の1店舗をピストロバル「有楽町ワイン倶楽部」にリニューアルする一方、不採算店舗や契約期間満了の事由により9店舗を閉店いたしましたので、当第3四半期会計期間末の店舗数は244店舗となりました。

当第3四半期累計期間における業績につきましては、売上面では「倶楽部ダイナック（顧客会員カード）」の顧客拡大と入会登録100万人突破キャンペーン並びに「ダイナミック夏祭り」の全社統一キャンペーンによる販促活動の展開、「だい九」ブランドの「夏ギフト」の販売などにより、売上高は24,211百万円となりました。

利益面では、原価管理を含む店舗運営コストの効率化に努めましたが、不安定な天候要因などの影響もあり、経常利益は100百万円、四半期純損失は44百万円となりました。

当該事業の形態別概況は以下のとおりです。

レストラン・バーの業績の概況は、ほぼ前述のとおりであり、売上高は22,064百万円、売上総利益は2,276百万円となりました。

ケータリングは、売上高は621百万円、売上総利益は63百万円と堅調に推移いたしました。

その他は、「針テラスドライブイン」の売店収入の伸張などにより、売上高は1,526百万円、売上総利益は209百万円となりました。

なお、当社は前事業年度より決算日を9月30日から12月31日に変更しております。このため、前事業年度は平成23年10月1日から平成23年12月31日までの3ヶ月決算となっておりますので、前年同四半期との比較は行っておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は14,086百万円となり、前事業年度末と比べ933百万円の減少となりました。その主な増減内容につきましては、以下のとおりです。

流動資産は、前事業年度末と比べ287百万円の減少となりました。これは主に売掛金が271百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べ645百万円の減少となりました。これは主に建物が237百万円、敷金及び保証金が295百万円、その他に含まれる繰延税金資産が83百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前事業年度末と比べ837百万円の減少となりました。これは主に買掛金が439百万円、借入金が295百万円、未払費用が235百万円、その他に含まれる預り金が87百万円それぞれ減少する一方で、賞与引当金が220百万円増加したことによるものです。

純資産は、前事業年度末と比べ96百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金が96百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末より0.7ポイント増加の21.0%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の業績予想につきましては、本日（平成24年11月2日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正いたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合)

当社は、法人税法の改正に伴い、第2四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改定後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	298,705	298,659
売掛金	1,834,737	1,562,985
商品	46,574	33,818
原材料及び貯蔵品	213,080	160,769
その他	773,481	824,482
貸倒引当金	14,000	16,000
流動資産合計	3,152,579	2,864,714
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,539,594	4,301,847
その他(純額)	511,410	471,328
有形固定資産合計	5,051,005	4,773,175
無形固定資産		
投資その他の資産	67,929	103,550
敷金及び保証金	5,894,986	5,599,767
その他	1,300,824	1,191,610
貸倒引当金	447,318	446,646
投資その他の資産合計	6,748,491	6,344,731
固定資産合計	11,867,426	11,221,457
資産合計	15,020,006	14,086,171

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,398,957	1,959,502
短期借入金	1,400,000	1,305,000
1年内返済予定の長期借入金	1,100,000	700,000
未払法人税等	74,500	40,000
未払費用	1,958,332	1,722,637
賞与引当金	-	220,000
役員賞与引当金	5,000	21,000
資産除去債務	12,216	8,667
その他	596,906	483,463
流動負債合計	7,545,912	6,460,271
固定負債		
長期借入金	2,400,000	2,600,000
退職給付引当金	1,127,099	1,167,558
役員退職慰労引当金	64,736	73,229
資産除去債務	743,453	735,338
その他	84,336	91,583
固定負債合計	4,419,625	4,667,709
負債合計	11,965,538	11,127,980
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,741,625	1,741,625
資本剰余金	965,175	965,175
利益剰余金	347,747	250,898
自己株式	99	99
株主資本合計	3,054,447	2,957,599
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20	591
評価・換算差額等合計	20	591
純資産合計	3,054,468	2,958,191
負債純資産合計	15,020,006	14,086,171

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	24,211,983
売上原価	21,661,572
売上総利益	2,550,411
販売費及び一般管理費	2,469,377
営業利益	81,033
営業外収益	
受取利息	562
受取配当金	176
営業補償金	33,831
償却債権取立益	22,101
その他	2,100
営業外収益合計	58,772
営業外費用	
支払利息	36,186
その他	2,921
営業外費用合計	39,108
経常利益	100,697
特別利益	
固定資産売却益	5,000
特別利益合計	5,000
特別損失	
固定資産除却損	25,246
減損損失	22,619
店舗等撤退損失	19,249
特別損失合計	67,115
税引前四半期純利益	38,582
法人税、住民税及び事業税	47,658
法人税等調整額	35,025
法人税等合計	82,684
四半期純損失()	44,101

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。